

第1回 JR行田駅前広場周辺再整備 基本計画検討委員会

基本計画策定の概要、
現状と課題整理

平成26年10月2日

目次

1. JR行田駅前広場周辺再整備基本計画策定について

- 1-1 計画の位置づけ
- 1-2 計画策定の目的
- 1-3 計画の対象地区
- 1-4 計画策定の検討体制
- 1-5 計画策定のスケジュール
- 1-6 ワークショップの概要

2. 対象地区の現状と課題

- 2-1 対象地区周辺まちづくり
- 2-2 駅前広場の歩行空間
- 2-3 駅前広場の車両走行空間
- 2-4 駅前広場のバス・タクシー
- 2-5 駅前広場周辺の市営駐輪場
- 2-6 壺里山公園
- 2-7 観光案内所

3. JR行田駅前広場周辺の課題（まとめ）

1. JR行田駅前広場周辺再整備基本計画策定について

1-1 計画の位置づけ

「行田市都市計画マスタープラン」(平成25年3月策定)

【行田市の将来像】
水と緑と歴史がおりなす
笑顔あふれるまち ぎょうだ

【行田市の都市づくり基本目標】

- ①行田らしさが光るまち
- ②笑顔で暮らす、住みよいまち
- ③笑顔あふれ、にぎわいを生むまち
- ④みんなで作る協働のまち

⇒上記の基本方針をもとに、市域を
4つの地域に分類

西部 地域

【西部地域の将来像】
鉄道の利便性を活かし、人々が行き交い、快適に暮らせるまち

- 基本方針①:住みたいと思える、快適で質の高いまちづくり
基本方針②:南の玄関口として、人々が行き交うまちづくり
〈主な施策〉
- ・生活支援施設の充実
 - ・良好な住宅地の形成
 - ・市内各地への交通利便性の向上
 - ・JR行田駅周辺の景観の形成

⇒JR行田駅の駅前広場再整備を「リーディングプロジェクト(重点施策)」
として位置づけている

「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画」(平成26年3月策定)

◆JR行田駅周辺を核としたまちづくりの方針

将来像:利便性を活かした定住と交流によるにぎわいのあるまちづくり

【JR行田駅周辺を核としたまち並みづくり】

“住みやすい”と思う良好なまち並みを形成し、住み続けることができる環境を形成する

〈取り組みの方向〉

- ・緑化の推進による緑豊かなまち並みの形成
- ・快適でゆとりある住宅地の形成

【JR行田駅周辺を核としたにぎわいづくり】

南の玄関口としての拠点性を高め、地域資源との連携を強化する

〈取り組みの方向〉

- ・JR行田駅の拠点性の向上
- ・観光資源に関する情報発信機能の充実
- ・市内地域資源を結ぶ地域公共交通ネットワークの充実
- ・JR行田駅周辺の低・未利用地の活用

1. JR行田駅前広場周辺再整備基本計画策定について

1-2 計画策定の目的

両計画の方針に基づき、JR行田駅の利便性を向上させ、駅周辺を核としたにぎわいを創出し、本市の南の玄関口として魅力ある駅前を創出することを目的とする

【計画検討の視点】

◆交通結節点としての交通機能形成

- ・各種実態調査やアンケート、市民によるワークショップ等から、駅前広場に必要となる機能を抽出し、交通空間の規模を算定
- ・駅周辺再整備計画を具体的に実現していくための事業手法を整理

◆JR行田駅を核とした都市機能の形成

- ・行田駅周辺の定住促進に向け、公共空間として、市民サービスのための必要機能や誘導方策等を検討
例：行政出張所、保育施設（保育所、送迎保育ステーション）、商業施設（コンビニエンスストア）等
- ・交通機能や都市機能を核とした地域全体の土地利用の方向性を検討

◆南の玄関口としての機能の強化

- ・鉄道利用による観光客の集客のための駅前広場及びアクセス道路における観光情報の提供手法を検討
- ・駅前広場の機能強化にあわせ、駅前広場と南大通り線を中心とした景観形成について検討

◆整備実施時期の位置づけ

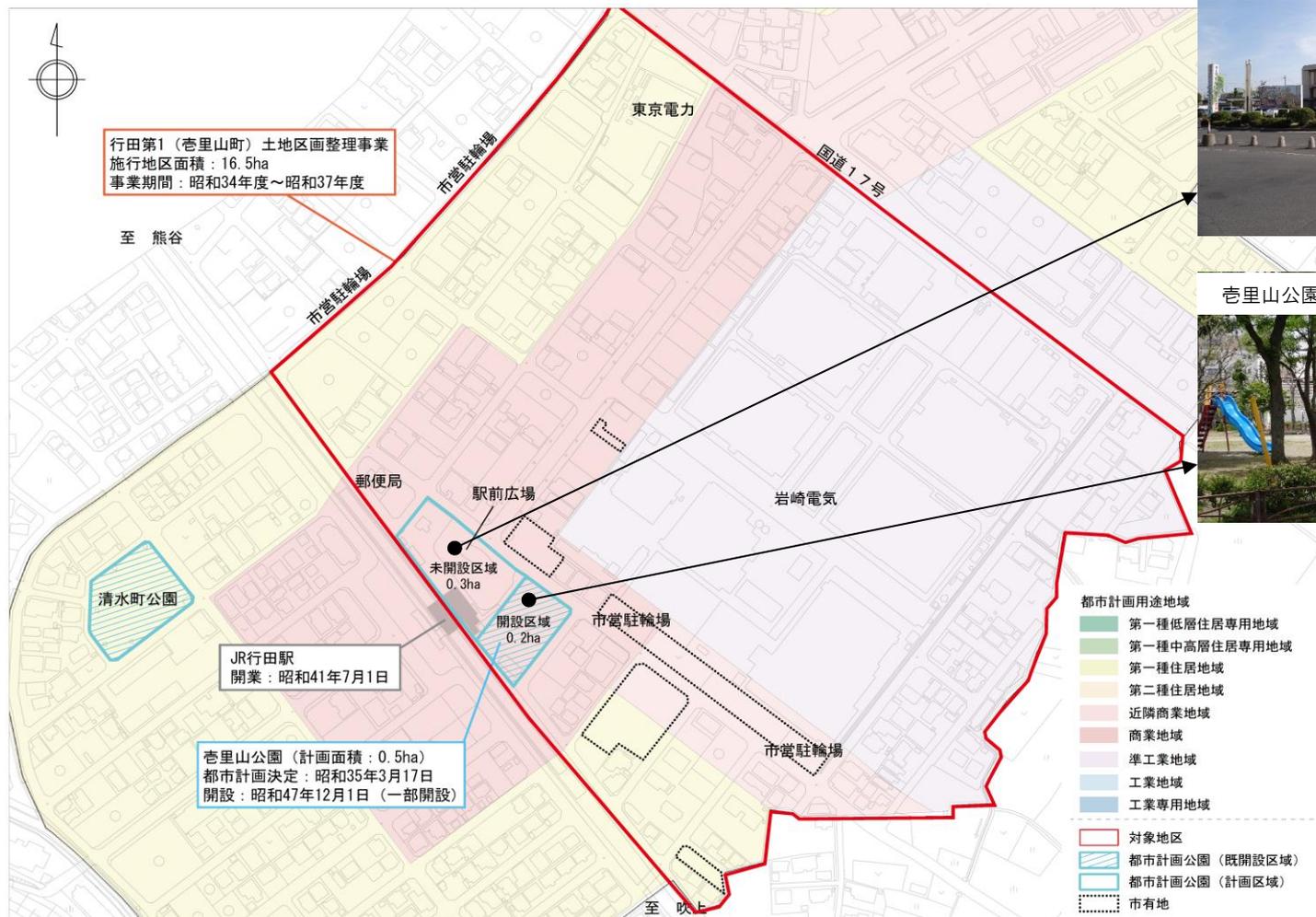
- ・実現に向けた短期・中期・長期的視点を位置づけ

1. JR行田駅前広場周辺再整備基本計画策定について

1-3 計画の対象地区

本検討の対象地区は、JR行田駅前広場及び壺里山町全域とする

◆本検討の対象地区



JR行田駅前広場



壺里山公園

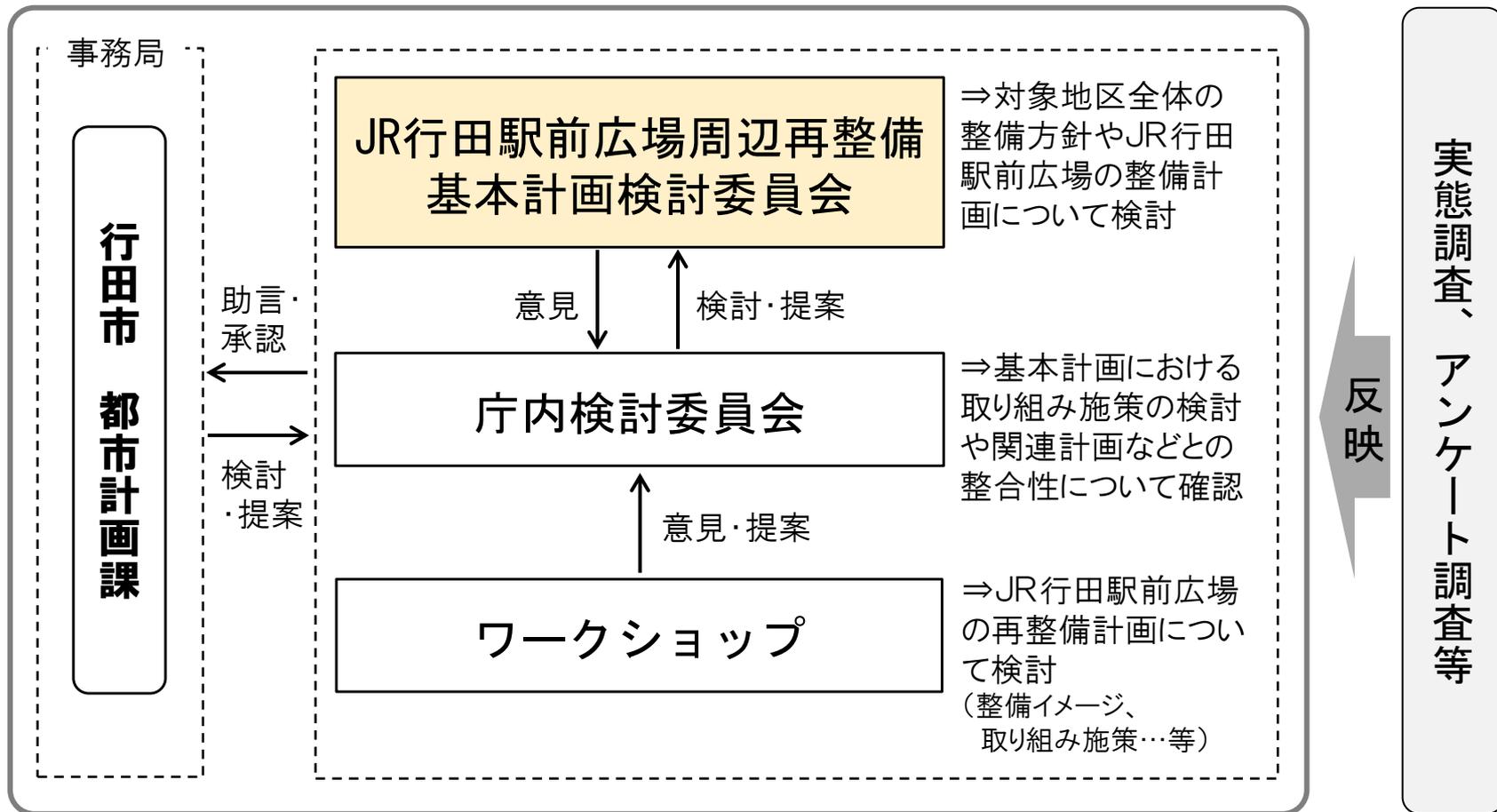


1. JR行田駅前広場周辺再整備基本計画策定について

1-4 計画策定の検討体制

実態調査やアンケート調査から得られた課題や方向性を反映しながら、検討委員会、庁内検討委員会、ワークショップで検討を行い、基本計画を策定

◆検討体制



1. JR行田駅前広場周辺再整備基本計画策定について

1-5 計画策定のスケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
検討委員会		10/2 第1回		第2回	第3回	パブリックコメントの実施	第4回	
庁内検討委員会	9/25 第1回			第2回	第3回			第4回
ワークショップ		10/7 第1回 10/24 第2回	11/14 第3回 11/28 第4回					

JR行田駅前広場周辺再整備基本計画

◆ 検討委員会

- 第1回: 対象地域の現況・課題の整理
- 第2回: WS報告、まちづくり方針の検討
- 第3回: 基本計画(素案)の策定
- 第4回: 基本計画(案)の策定

◆ 庁内検討委員会

- 第1回: 対象地域の現況・課題の整理
- 第2回: WS報告、まちづくり方針の検討
- 第3回: 基本計画(素案)の策定
- 第4回: 基本計画(案)の策定

◆ ワークショップ

- 第1回: 駅前広場の現況・課題の整理
- 第2回: 取り組みメニューの検討
- 第3回: 駅前広場整備イメージ(案)の作成
- 第4回: 駅前広場整備方針(案)の作成

1. JR行田駅前広場周辺再整備基本計画策定について

1-6 ワークショップの概要

駅利用者や地域住民、周辺事業者等、幅広い意見を計画策定に反映するため、市民参加型のワークショップを開催し、地域の課題や駅前広場の整備方針について検討を行う

■参加者（約30名予定）

- ・市民（公募）
- ・太井地区にお住まいの方
- ・対象地区周辺の事業者
- ・商業・観光関係者
- ・ものづくり大学

■開催スケジュール

日程	検討内容
10/7 第1回ワークショップ	・ワークショップの目的と進め方について意識共有 ・地域概要（各種調査結果）について報告し、駅前広場の現況・課題について意見交換を行い、整理する
10/24 第2回ワークショップ	・第1回WSにおいて抽出された対象地域の課題に対して、他地域での事例等を紹介しながら具体的な取組メニューについて意見交換を行い、対策方針を整理する
11/14 第3回ワークショップ	・第2回WSにおいて検討した対策方針、取組メニューをもとに、駅前広場に必要な機能を検討し、駅前広場整備イメージ（案）（配置案）を作成する（グループごとに案作成）
11/28 第4回ワークショップ	・第3回WSにおいて検討された駅前広場整備イメージ（案）を基に作成した駅前広場整備方針（案）（まとめ）について、意見交換、合意形成を行う

2. 対象地区の現状と課題 (調査項目一覧)

基本計画策定に向けて、駅前広場利用実態調査やアンケート調査等を実施

項目	調査期間	内容
1. 駅前広場利用実態調査		
駅前広場 利用実態調査	7/16(水) 7:00~19:00	<ul style="list-style-type: none"> ・駅利用者の状況 …駅前広場内を行き来する利用者数を時間帯別に計測 ・送迎車両の状況 …駅前広場内で乗降を行う車両数及び人数を計測 ・駐車状況 …駅前広場内に駐停車している車両数を計測 ・タクシー待機車両…駅前広場内のタクシー待機車両数を計測
駐輪場等 利用実態調査		<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐輪場利用状況…市営駐輪場(3箇所)の自転車及び二輪車の利用台数を観測 ・民間駐車場利用状況…駅周辺の時間貸し駐車場及び月極駐車場の利用台数を観測
2. アンケート調査		
駅利用者 アンケート調査	7/16(水) 配布 8/1(金) 回収	駅利用者に対し、駅前広場内にて手渡しによりアンケート票を配布し、郵送により回収 配布数:588票、回収数:184票(回収率:31.3%)
観光来訪者 アンケート調査	7/16(水) 配布開始 8/25(月) 回収	観光案内所にアンケート票を設置し、観光案内所の来訪者に対して、観光案内所職員による聞き取り調査を実施 回収数:58票
地域住民 ニーズ調査	8/18(月) 発送 9/7(日) 回収	JR行田駅周辺(太井地区)の住民を対象に無作為抽出を行い、アンケート票を郵送にて配布・回収 配布数:502票、回収数:181票(回収率:36.1%) ※9/8時点
土地所有者 意向調査	8/21(木) 発送 9/14(日) 回収	行田市壺里山町内で一定規模以上の土地を有料駐車場などとして活用している方や未利用地を所有している方を対象とし、アンケート票を郵送にて配布・回収 配布数:48票、回収状況:28票(回収率:58.3%) ※9/8時点
3. 事業者ヒアリング		
	7/29(火) 13:30~14:30 7/29(火) 15:30~16:30 8/11(月) 13:30~14:30	岩崎電気株式会社 埼玉製作所 (出席者:所長以下2名) 埼玉縣信用金庫 (出席者:副部長以下5名) 東京電力株式会社 熊谷支社 行田制御所 (出席者:所長以下2名)

⇒上記調査結果等を踏まえ、次頁以降に対象地区の現況及び課題を整理

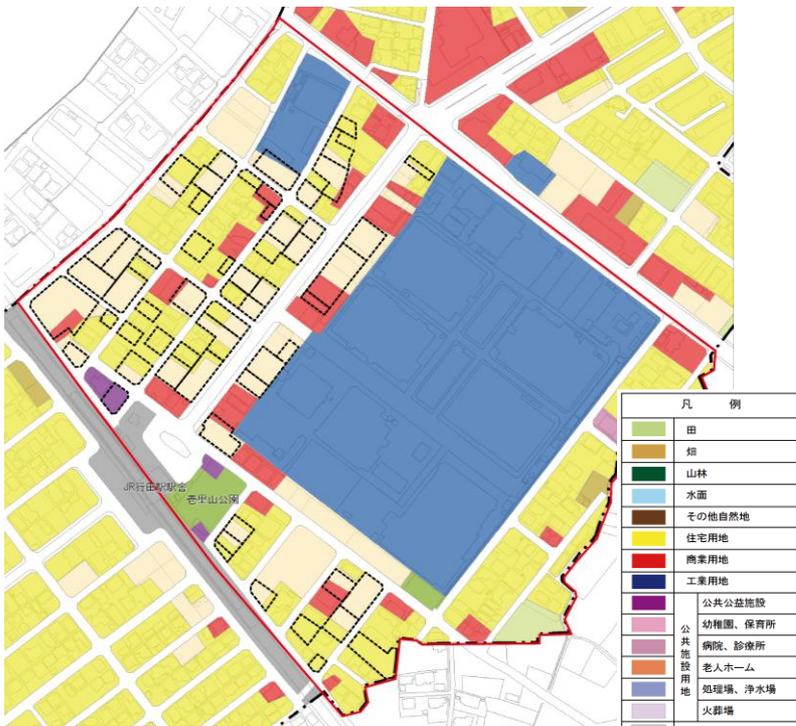
2. 対象地区の現状と課題

2-1 対象地区周辺まちづくり（現状）

現状

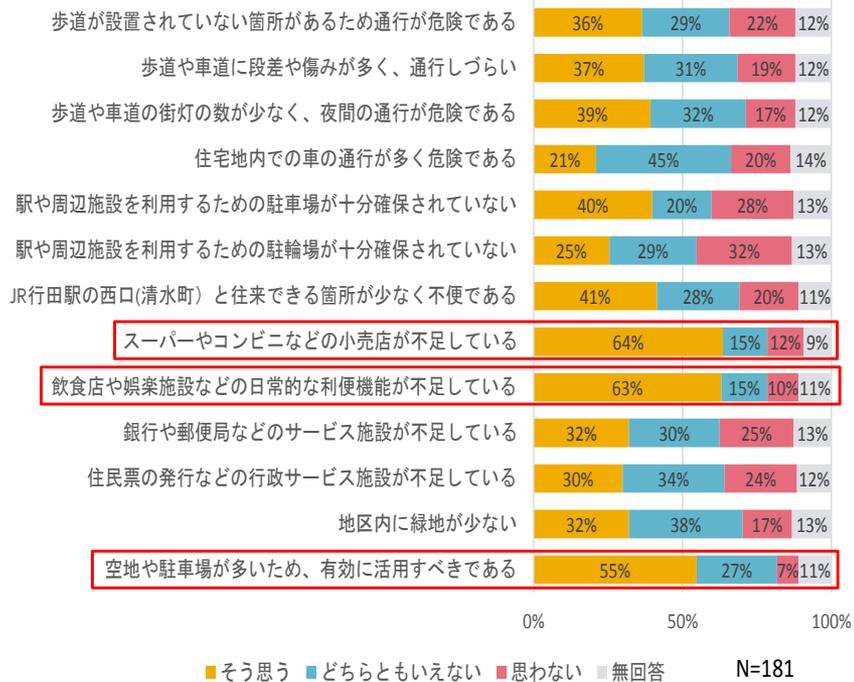
- ・JR行田駅周辺には、クリニックや学習塾などはあるが、スーパーやコンビニなどの小売店舗、飲食店、娯楽施設などが少なく、これらが不足しているとの意見が多い
- ・空地や駐車場が多く、有効に活用すべきとの意見も多い

◆土地利用状況



※平成23年度 都市計画基礎調査結果

◆対象地区の現状について



※地域住民アンケート結果

2. 対象地区の現状と課題

2-1 対象地区周辺まちづくり (低未利用地の状況)

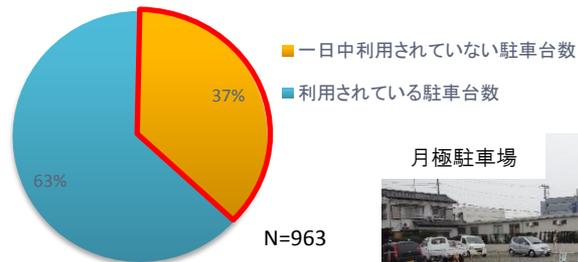
現状

- ・駅周辺(壱里山町地内)に月極駐車場は57箇所あるが、一日利用されていない駐車場が37%(353台/963台)を占めている。
- ・なお、土地所有者の今後の意向としては、今後も継続的に駐車場として活用を考えている人が39%である一方、同数が土地利用の転換や売却を視野に入れている

◆駅周辺の駐車場位置



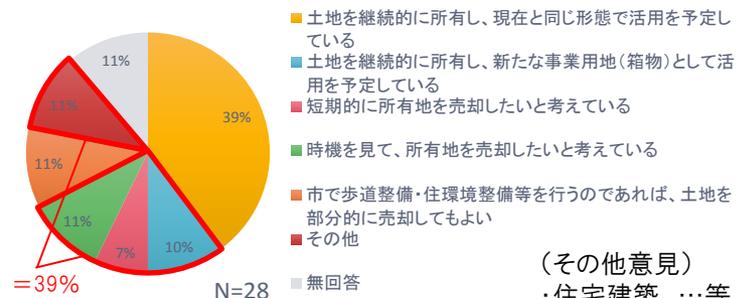
◆駅周辺の駐車場の利用状況



※実態調査結果



◆駐車場土地所有者の今後の活用意向



※土地所有者アンケート結果

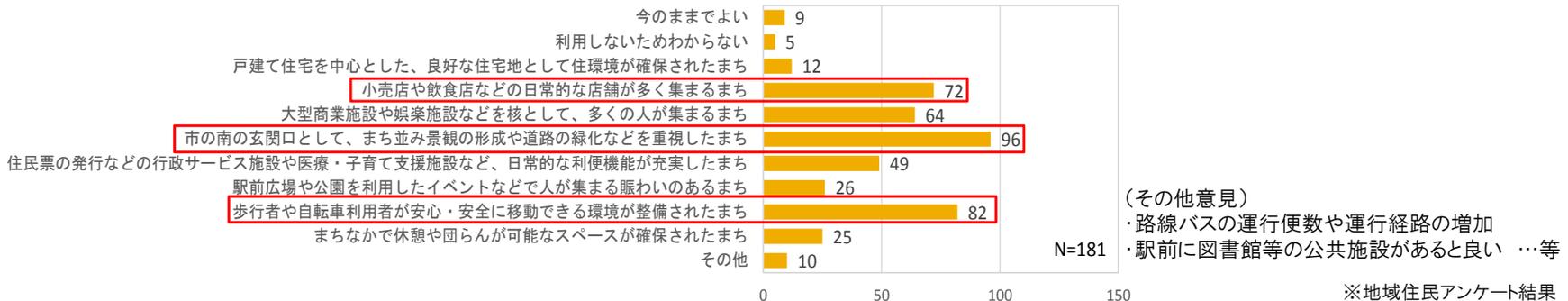
2. 対象地区の現状と課題

2-1 対象地区周辺まちづくり（ニーズ・課題）

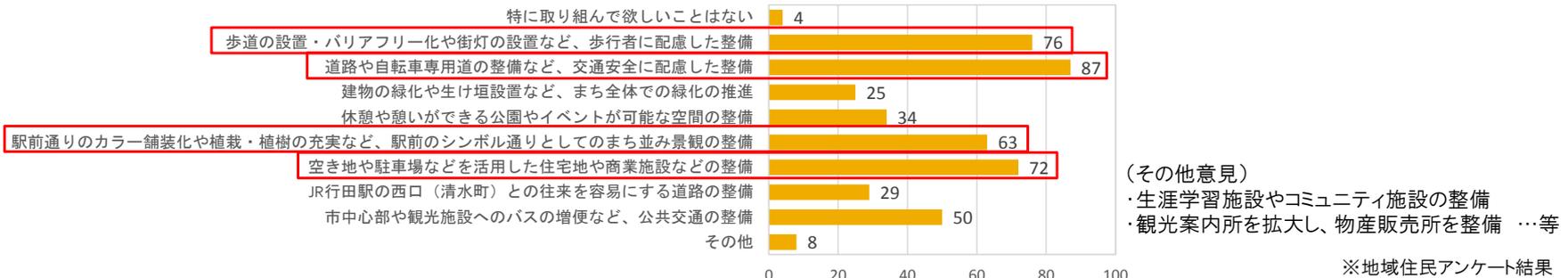
ニーズ

・地域住民ニーズ調査の結果から、今後のまちづくりの方針としては、「市の南の玄関口として、まち並み景観の形成や道路の緑化などを重視したまち」、「歩行者や自転車利用者が安全・安心に移動できる環境が整備されたまち」「小売店や飲食店などの日常的な店舗が多く集まるまち」に対するニーズが高い

◆今後のまちづくりについて



◆まちづくりを進める上で取り組んで欲しい事項



課題

- ・スーパーやコンビニ、飲食店等の商業施設の誘導
- ・駐車場や空き地などの低未利用地の活用

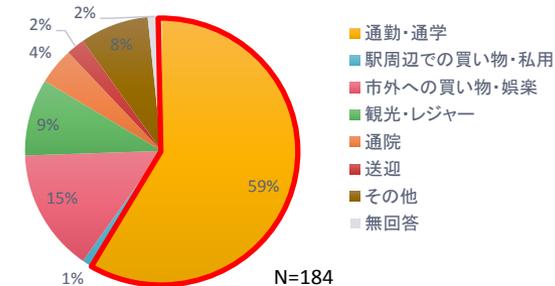
2. 対象地区の現状と課題

2-2 駅前広場の歩行空間（利用状況）

現状

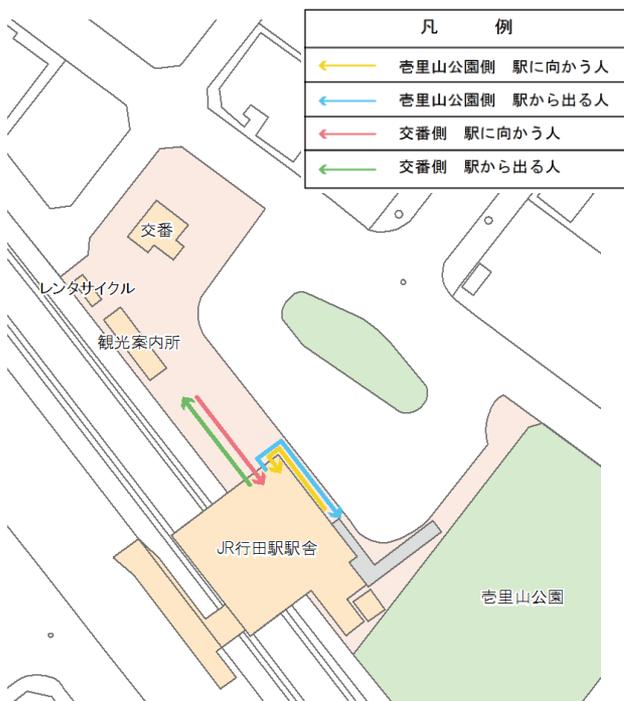
- ・JR行田駅の利用目的は、59%が通勤・通学
- ・駅利用者は午前7時台がピークであり、壱里山公園側で約810人/時、交番側で約920人の通行がある
- ・夕方のピークは18時台で、壱里山公園側で約400人/時、交番側で約440人の通行がある

◆ 駅利用目的



※駅利用者アンケート結果

◆ 駅前広場の歩行者数



壱里山公園側の歩行者数



※実態調査結果

交番側の歩行者数



※実態調査結果

2. 対象地区の現状と課題

2-2 駅前広場の歩行空間（課題）

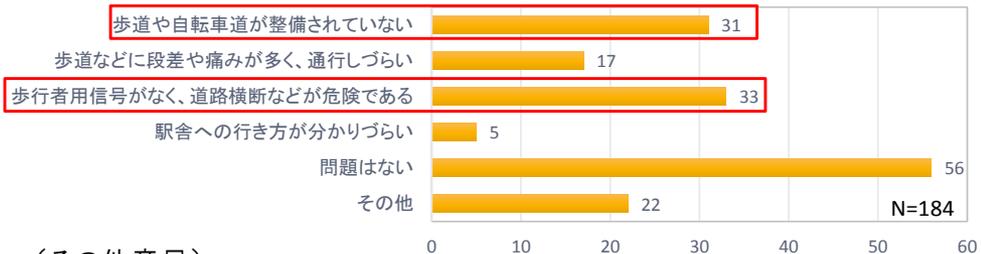
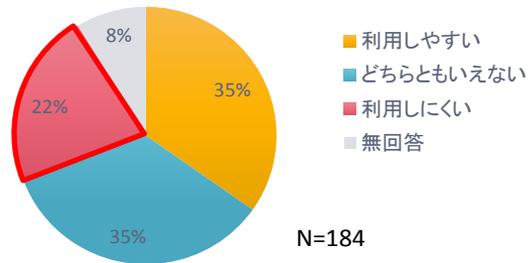
問題点

- ・歩行空間に対して利用しにくいと感じている利用者は22%であり、「歩行者用信号がなく、道路横断が危険」、「歩道や自転車道が整備されていない」との意見が多い
- ・歩行者は交番側と壱里山公園方面に分かれるが、壱里山公園側の歩行空間の幅員が狭いため、駅前広場内の車道部を通過する利用者が多く危険

◆歩行者の主な動線



◆駅前広場や周辺の歩道等の利用について



(その他意見)

- ・ロータリー内を横断する歩行者が危険
- ・外灯が少なく暗い

…等

※駅利用者アンケート結果

課題

- ・駅前広場での歩道・車道の整備による安全・安心な歩行者空間の確保
- ・駅前広場内の車道部への歩行者流入の抑制

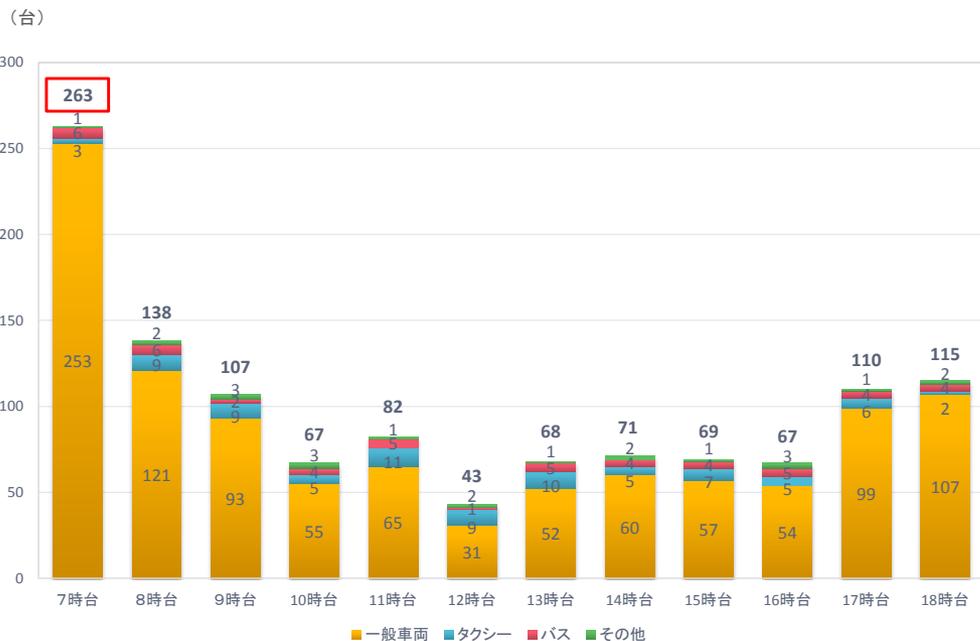
2. 対象地区の現状と課題

2-3 駅前広場の車両走行空間（利用状況）

現状

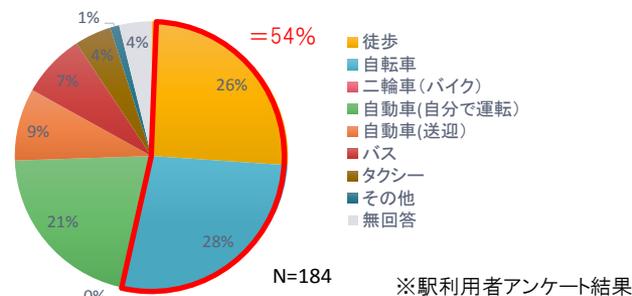
- ・駅までの交通手段は、徒歩や自転車による利用が半数以上と多いが、朝のピーク時には約260台/時(13秒に1台)の車両が駅前広場内を走行する
- ・車両は一般車両が大半を占め、降車人数は、朝7時台の約230人がピークとなり、乗車人数では、夕方18時台の約60人がピークである

◆駅前広場内の車両走行台数

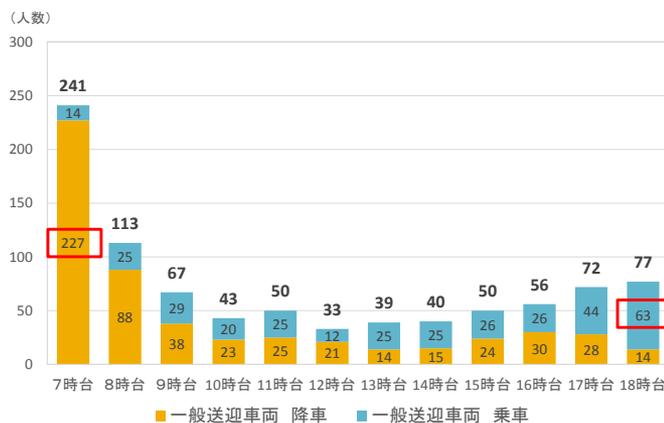


※実態調査結果

◆駅までの交通手段



◆一般送迎車の乗降者人数



※実態調査結果

2. 対象地区の現状と課題

2-3 駅前広場の車両走行空間（課題）

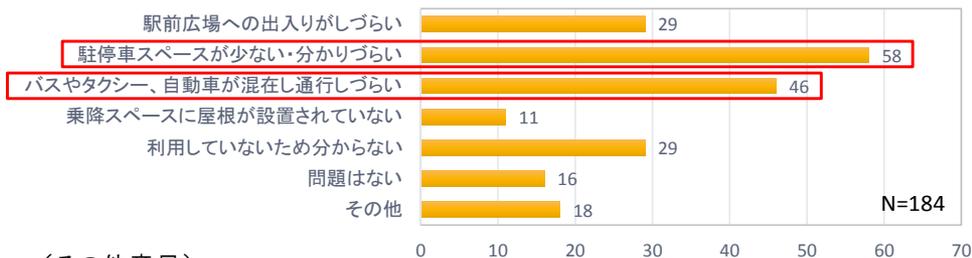
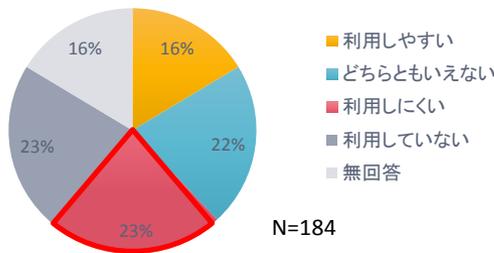
問題点

- ・自動車での送迎利用において利用しにくいと感じている利用者は23%であり、「駐停車スペースが少ない・分かりづらい」、「バスやタクシー、自動車が混在し通行しづらい」との意見が多い
- ・送迎利用が多い時には乗車・降車・通過車両が混在（朝は進入する車両台数がピークとなるため混雑、夕方は駅利用者の到着を待つための待機車両が増加するため混雑）



夕方の待機車両(身障者用駐車スペース周辺)

◆自動車での送迎利用について



(その他意見)

- ・身障者用駐車スペースに一般車が駐車(待機)しているのは良くない。
- ・雨の日など駅前広場内が車で混雑し、危険である。
- ・乗降スペースが不明確である。

…等 ※駅利用者アンケート結果

課題

- ・乗降スペースの明確化と待機車両用のスペースの確保
- ・車両別(一般送迎車、バス、タクシー)の走行動線の明確化による安全性確保

2. 対象地区の現状と課題

2-4 駅前広場のバス・タクシー（利用状況）

現状

- ・駅までの交通手段のうち、バス利用者は7%、タクシー利用者は4%である(P15参照)
- ・実態調査の実施時期は古代蓮の里のシーズンであり、バス利用者が多く、朝7～10時台の乗車人数、午後13～14時台の降車人数が多い

◆バス・タクシーの乗降場



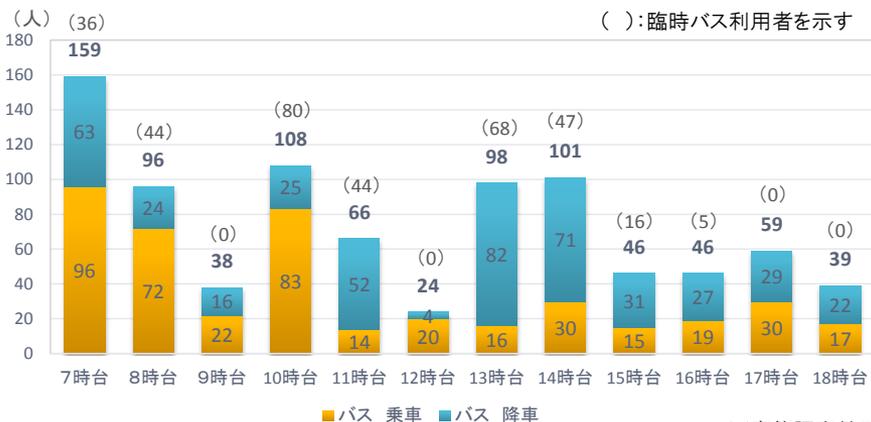
バス乗降場



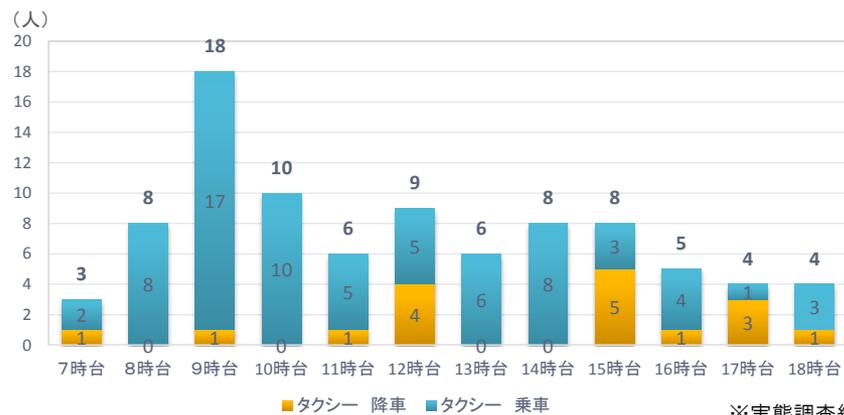
タクシー乗降場



◆バス利用状況



◆タクシー利用状況



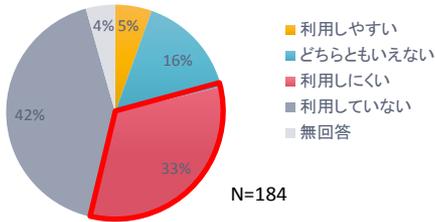
2. 対象地区の現状と課題

2-4 駅前広場のバス・タクシー（課題）

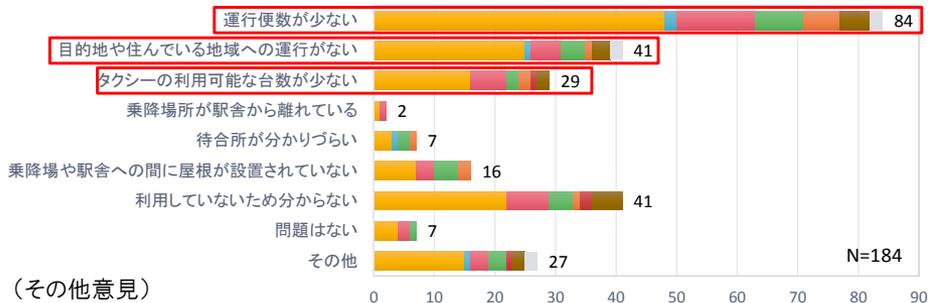
問題点

- ・バス・タクシーが利用しにくいと感じている利用者が33%であり、バスの運行便数や運行経路、タクシーの待機車両の少なさについて要望が多い
- ・特に古代蓮の里のシーズンにはバス利用者が多く、臨時バスが運行しているが、さらなる増便の要望が多い

◆バス・タクシーの利用について



■ 通勤・通学 ■ 駅周辺での買い物・私用 ■ 市外への買い物・娯楽 ■ 観光・レジャー ■ 通院 ■ 送迎 ■ その他 ■ 未回答

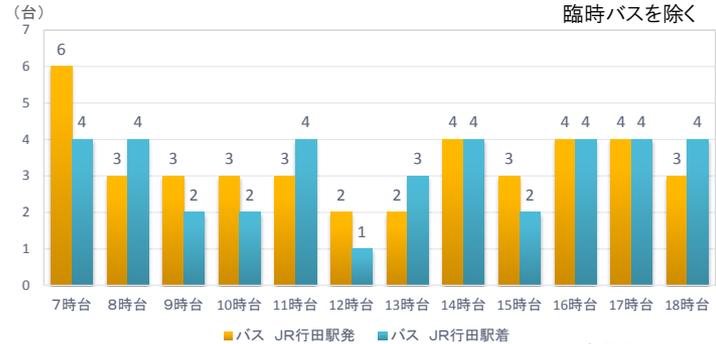


(その他意見)

- ・鉄道運行の時間とバスの接続が悪い。
- ・長時間待つ場所がない(ベンチ、喫茶店等)
- ・古代蓮の里のシーズンにはもう少しバスの運行便数を増やしてほしい。…等

※駅利用者アンケート結果

◆バス運行便数



※実態調査結果

古代蓮の里行きバス(臨時)の待ち状況



課題

- ・バス便数増加や運行経路の拡充、タクシーの待機車両の増加
- ・観光シーズンを考慮したバス・タクシー利用者の待合スペースの確保

2. 対象地区の現状と課題

2-5 駅前広場周辺の市営駐輪場（利用状況）

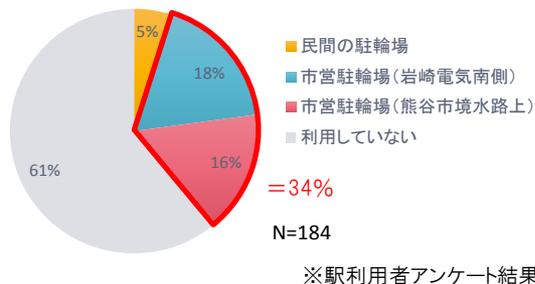
現状

- ・駅利用者のうち、市営駐輪場を利用している割合は34%であり、岩崎電気南側(①・②)と熊谷市境水路上(③)に半々程度の割合となっている。
- ・岩崎電気南側(①・②)ではほぼ満車となっているが、熊谷市境水路上(③)では駅舎から遠方側に空きがみられる

◆市営駐輪場の位置



◆駅利用者の駐輪場の利用状況



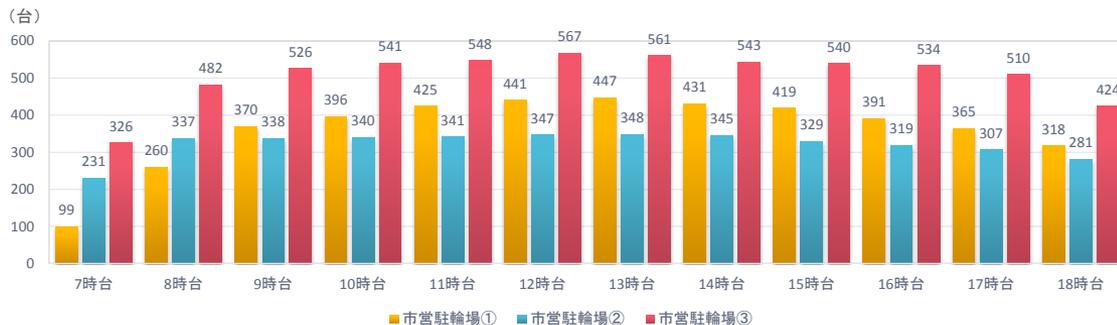
市営駐輪場①



市営駐輪場③



◆市営駐輪場の利用状況



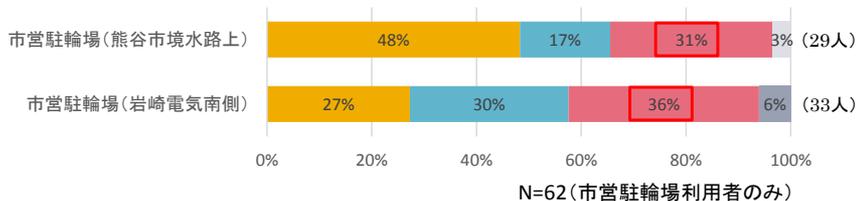
2. 対象地区の現状と課題

2-5 駅前広場周辺の市営駐輪場（課題）

問題点

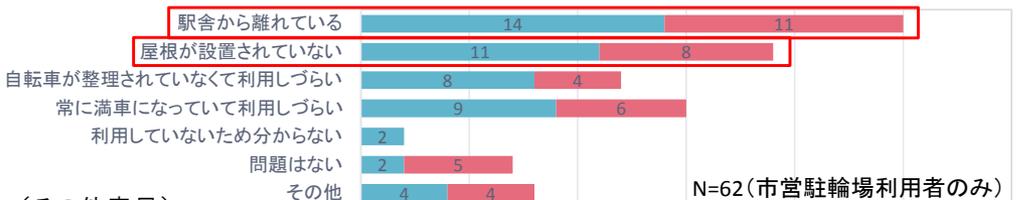
・市営駐輪場を利用しにくいと感じている人は、岩崎電気南側で36%、熊谷市境水路上で31%であり、「駅舎から離れている」、「屋根が設置されていない」といった意見が多い
 ・何らかの整備が必要と回答した人は39%であり、有料化しても利用するとの回答が多い（日額200円、月額2500円以下が半数程度）

◆市営駐輪場の利用について



■ 利用しやすい ■ どちらともいえない ■ 利用しにくい ■ 利用していない ■ 無回答

■ 市営駐輪場(岩崎電気南側) ■ 市営駐輪場(熊谷市境水路上)

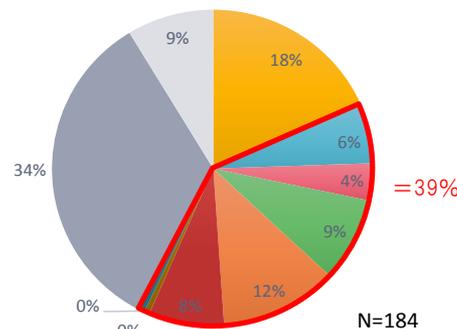


(その他意見)

- ・自転車の盗難がある
- ・整理員によって整理されているが、台数が多いため窮屈になり出しにくい …等

※駅利用者アンケート結果

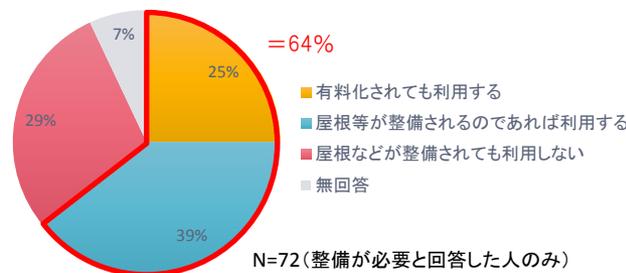
◆市営駐輪場の整備について



- 今のままでよい
- 今の場所に屋根を整備してほしい
- 今の場所に屋内型駐輪場を整備してほしい
- 駅の近くに整備してほしい(屋根等は不要)
- 駅の近くで屋根付駐輪場を整備してほしい
- 駅の近くで屋内型駐輪場を整備してほしい
- 駅から離れてもよいので、屋根付駐輪場や屋内型駐輪場を整備してほしい
- その他
- 利用しないためわからない
- 無回答

※駅利用者アンケート結果

◆有料化について



※駅利用者アンケート結果

課題

・市営駐輪場の利用環境の改善（駅舎近くへの移設、屋根の設置…等）

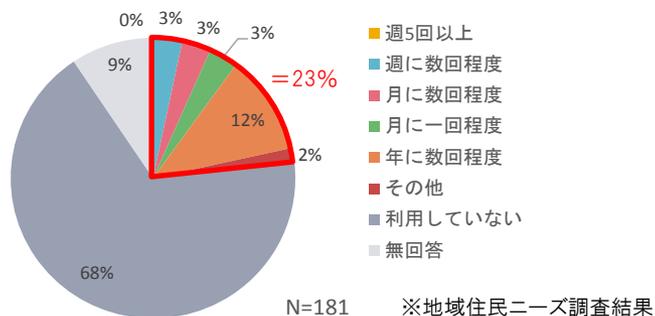
2. 対象地区の現状と課題

2-6 壱里山公園（現状と課題）

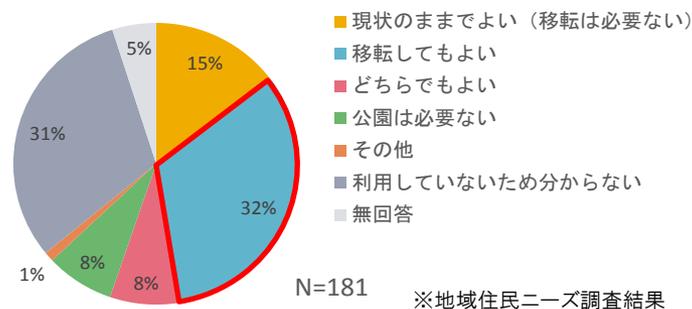
現状

- ・壱里山公園の利用者は23%を占め、利用頻度は年に数回が最も多く、利用者構成は「家族」が72%を占める
- ・移転については、「移転してもよい」が32%であり、公園の充実度としては、遊具や緑が不十分との意見が14%である

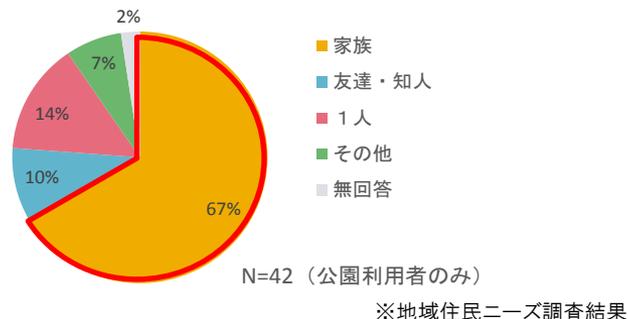
◆壱里山公園の利用頻度



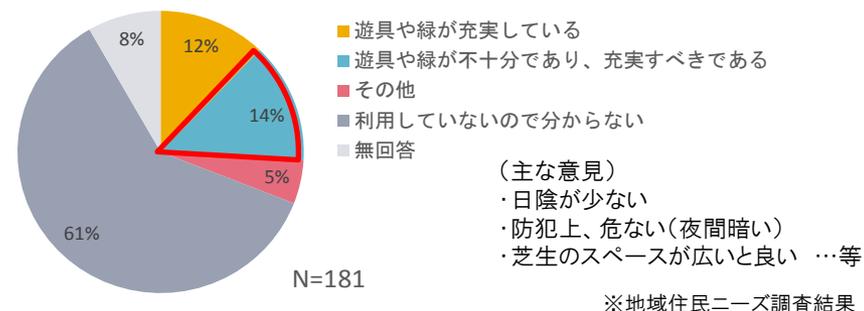
◆公園の移転について



◆壱里山公園の利用者構成



◆公園に必要な機能について



課題

・駅前広場の再整備方針に合わせた機能充実

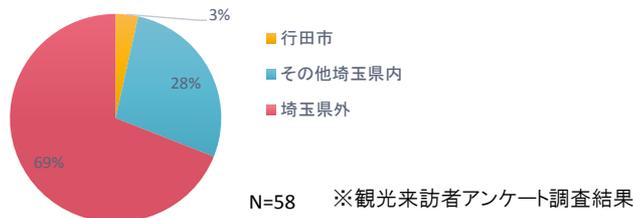
2. 対象地区の現状と課題

2-7 観光案内所（現状と課題）

現状

- ・観光案内所利用者は県外からの利用が多く、古代蓮の里やさきたま古墳公園への観光客が多い
- ・観光案内所の場所や規模は現状程度で問題ないとされているが、観光施設情報や観光案内地図等の情報充実が求められている

◆観光案内所利用者の居住地



◆駅・観光案内所において入手したい観光情報



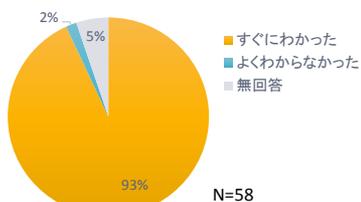
◆観光案内所利用者の観光行き先



◆観光案内において、充実すべき内容



◆観光案内所の場所



◆観光案内所の広さ



課題

・観光施設情報や観光案内地図などの情報充実

3. JR行田駅前広場周辺の課題（まとめ） （今後の基本計画策定の視点）

		主な現状・問題点	課題	整備の視点
全体	周辺まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやコンビニ、飲食店等の商業施設が少ない ・空き地や駐車場などの低未利用地が多い ・歩道や自転車道の未整備箇所が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービス施設の充実 ・商業施設の誘導 ・低未利用地の活用 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 対象地区全体の土地利用方針 （誘導方針等） </div>
	駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者用信号がなく、道路横断が危険 ・歩道や自転車道の整備がされていない ・駅前広場の車道部を歩行者が通過し危険 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場周辺での安全・安心な歩行者空間の確保 ・駅前広場内の車道部への歩行者流入抑制 	
駅前広場周辺施設	車両走行空間	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車、降車、通過車両が混在し危険（朝は車両台数が多い、夕方は待機車両が多い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降スペースの明確化 ・待機車両スペースの確保 ・車両別の走行動線の明確化 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 駅前広場周辺 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;"> 駅前広場の機能強化や拡幅 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;"> 新規施設や既存施設（壱里山公園・市営駐輪場等）の整備の必要性検討 </div>
	バス・タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行便数や運行経路が少ない ・タクシーの待機車両が少ない ・観光シーズンの臨時バス便数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの増便、運行経路拡充 ・タクシーの待機車両増加 ・待合スペースの確保 	
	市営駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎から離れている ・屋根が設置されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用環境の改善（移設・屋根の設置...等） 	
駅前広場周辺施設	壱里山公園	<ul style="list-style-type: none"> ・移転しても良いとの意見が約3割 ・公園利用者では、遊具や緑が不足しているとの意見が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の再整備方針に合わせた機能拡充 	
	観光案内所	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所の場所や規模については問題ない ・観光施設情報や観光案内地図等の情報充実が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設情報や観光案内地図などの情報充実 	

今後の予定

- ・壱里山公園や市営駐輪場の移設を含めた駅前広場周辺の整備について、ワークショップを通じて議論
- ・対象地区全体については、意向調査結果等を踏まえ、委員会を中心に長期的な土地利用の方向性を整理